

発行
2023年7月
No.37

日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 ニュースレター

発行人
支部長 木佐 健悟

北海道ブロック支部事務局
(市立美唄病院内)
TEL:0126-63-4171
mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

北海道ブロック支部広報委員会

編集前記

こんにちは。編集担当の今江です。

道内も過ごしやすい気候となり、いよいよこれから夏の訪れを感じる季節になってきました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症となった影響は世間では思いの外大きく、マスクを外して歩くのが当たり前の光景となり、様々なイベントやお祭りが復活し、ようやくコロナ禍前に戻ったのだなと実感しています。

自分自身もようやく最近気兼ねなくコンビニにマスクなしで入店できるようになりました。改めて今回の経験が何だったのかを振り返り、今後に生かしていきたいと思えます。

今回のニュースレターでは、2023年度新専攻医オリエンテーションの開催報告と、今年度の若手医師学生支援委員会が取り組む活動内容についてご紹介します。



札幌市中央区

2023年度の道内新専攻医は12名！ 「新専攻医オリエンテーション」を開催しました

2023年4月22日(土)に、2023年度「新専攻医オリエンテーション」を札幌かでの2・7で開催しました。

当日参加した道内の新専攻医は12名(うち総合診療のみ2名)で、企画側は、佐々尾航副支部長(道立羽幌病院)、若手医師学生支援委員会の今江章宏委員長(町立寿都診療所)、加藤聡一郎先生(釧路協立病院:指導医)、八島駿先生(本輪西ファミリークリニック:専攻医)、竹内健貴先生(道立羽幌病院:専攻医)、舛森悠先生(函館稜北病院:専攻医)が参加しました。

○学会・ブロック支部の紹介

冒頭に、加藤聡一郎先生より、新専攻医の皆さんの歓迎とともに、日本プライマリ・ケア学会や北海道ブロック支部の活動全体について紹介していただきました。

○専攻医部会・研修概要の紹介

次に、学会の専攻医部会代表も務めている八島駿先生より、専攻医部会の取り組みや、専門研修の概要について、専攻医目線から分かりやすく説明していただきました。

○ポートフォリオ症例検討会

後半は、先輩専攻医である舛森悠先生より、ご自身が研修中に経験した貴重な症例をもとに、指導医との振り返りからポートフォリオ作成に至るまで過程をグループディスカッション形式で追体験するワークショップを行いました。

紹介いただいた症例は、過去に様々な医療機関を受診するも原因不明の症状が続いている患者さんに対して、生物医学的な鑑別診断のみならず、心理社会的側面も踏まえつつ他科専門医や多職種とも連携し、患者さんと信頼関係を構築しながら丁寧に診療を継続した事例で、そこから総合診療医・家庭医として「未分化な健康問題」をいかに扱うかを学びポートフォリオ作成に繋がった素晴らしい発表でした。

新専攻医の皆さんも自分だったらどう診療するかをお互い活発に議論することで、これからの研修をイメージするとともに、交流を深めていました。

最後に、いつもお忙しいなか会場確保や準備作業をお願いしている事務局の皆様改めて感謝申し上げます。



アマルグランピング・ノースサファリサポロ

トピック① 支部会員リレーコラム

今回は、町立寿都診療所で、医療・介護リハから地域の健康づくりまで幅広く活躍中の、渡部和也理学療法士(ブロック支部幹事)です！

トピック② 若手医師学生支援委員会の活動について

2023年度も、道内3大学の学生や研修医へのプライマリ・ケア、総合診療、家庭医療の魅力を伝える活動や、道内各プログラム専攻医の研修支援、交流事業を企画しています！

トピック③ 第10回北海道プライマリ・ケアフォーラム開催日が決定！

第10回北海道プライマリ・ケアフォーラム(兼第103回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会)が、2023年11月18日(土)に札幌かでの2・7で現地開催することが決定しました。



寿都町の海

トピック①

支部会員リレーコラム！

渡部 和也（医療法人北海道家庭医療学センター 寿都町立寿都診療所）



寿都町立寿都診療所の理学療法士の渡部です。寿都町に移り住んで今年で7年目、プライマリ・ケアとの出会いも7年目になります。

今年度から北海道ブロック支部の幹事を拝命しています。これまで医師、薬剤師で構成されることが多かったブロック支部役員ですが、このたびはこの2職種以外では唯一の選出となりました。多様な視点をもって支部運営に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

寿都町は後志西部に位置する人口2,700人の港町で、町立診療所は町唯一の有床医療機関です。2005年の開設時から北海道家庭医療学センターが医師を派遣しており、18年から指定管理者となっています。現在は診療体制は医師5人で、外来・入院・救急・訪問を行なっています。

リハビリは理学療法士1人体制で、外来・入院を医療保険で、通所・訪問を介護保険で行なっています。

私は前職は札幌の介護施設勤務でしたが、より地域に幅広く関わりたいと考え寿都町で働くことを決めました。寿都での仕事は様々な場面でこれまでの経験を生かせるもので充実しており、さらにここで出会ったプライマリケアや家庭医療の考え方…患者中心の関わり方や地域全体への関わり方…において、これまでになかった大きな学びを得られています。実は寿都町は私理学療法士以外にも医師、薬剤師、看護師のプライマリケア学会会員がいる充実の環境なんですよ！

「地域の多様な場面で活躍できるリハビリ職を目指して」

- 渡部 和也

寿都では毎年7月に盛大に行われていた神社祭がコロナ禍を経て3年ぶりに開催されます（写真右）。二日ばかりで町中を回るのは本当に本当～に大変ですが、町に活気が戻るのには喜ばしく思います。

リハビリ職としては、私が札幌勤務時代に抱いたような「もっと地域に幅広く関わりたい」思いを持った人を探していますので、お知り合いで興味のある方がいればぜひ教えてください！



トピック②

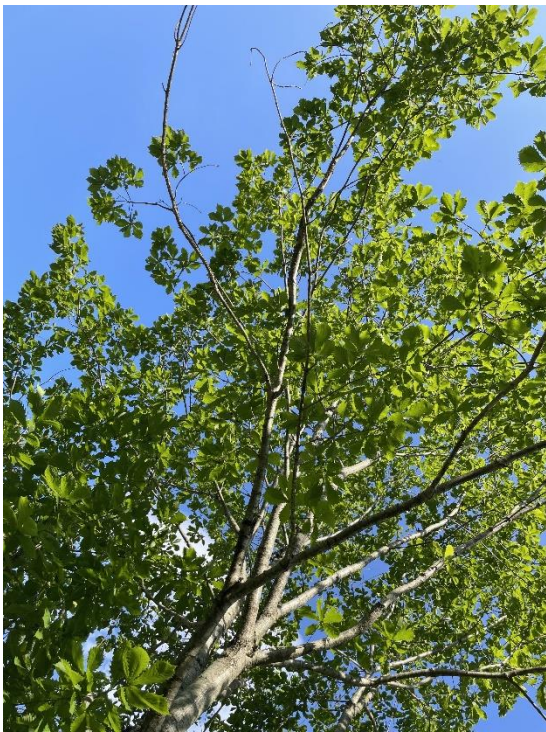
「若手医師学生支援委員会」は、どんな活動をしているの？

ブロック支部には「若手医師学生支援委員会」があります。

同委員会は、道内3大学の学生や研修医に対してプライマリ・ケア、総合診療、家庭医療の魅力を伝える活動に加え、道内各プログラム専攻医の研修支援、プログラム間の交流事業を担当しています。

従来は学生・研修医・専攻医ごとに担当が分かれていましたが、2021年度からよりシームレスな企画運営を目指すため、一つの委員会に統合されました。メンバーも参加度合いによって委員・協力メンバーに分けており、緩やかに世代交代も進めながら、皆が無理なく関わられるように工夫しています。

また、委員によっては日本プライマリ・ケア連合学会の専門研修支援委員会・専攻医部会・学生研修医部会の北海道担当も兼任しており、学会全体の取り組みとの整合性を図りつつ、オール北海道で一体となって活動しています。



〈2023年度の活動予定〉

○学生キャンプ企画

数年振りに学生キャンプ企画が復活します。今回は札幌医科大学総合診療医学講座も協力のもと、9月2日(土)～3日(日)に赤平市で開催予定です。地域で総合診療・家庭医療に関する魅力を存分に感じられるよう、学生さんが主体的に企画を練ってくれており、委員会としてもしっかりサポートしていきます。7月中旬に改めて参加者を募集予定です。

○道内3大学学生向け勉強会

昨年度までと同様に、道内3大学へ直接赴き総合診療・家庭医療に関する勉強会を企画予定です。ブロック支部会員の先生方におかれましては、講師としてご協力をお願いすることがあるかもしれませんが、その際はよろしくご協力致します。

○サイトビジット&ポートフォリオ検討会

道内各プログラムを対象に、年1回直接現地へ赴き、専門研修に関する相互の情報共有やディスカッションを行います。同時に、訪問先プログラム専攻医を対象にポートフォリオ検討会も行っています。

今年度は10月27日(金)に釧路協立病院で実施予定です。詳細が決まり次第改めてご案内します。

○WEBポートフォリオ検討会

内部でポートフォリオ検討会の場を設けることが難しい少数専攻医プログラムを主な対象として、毎年数回実施しています。1人あたり30分程度の持ち時間で、他プログラムの指導医・専攻医も加わり、あえて少人数の心理的に安全な環境で、研修中に経験した症例の振り返りを支援し、ポートフォリオ作成に繋がります。今年も時期が近くなれば各プログラムへご案内します。



サイトビジット&ポートフォリオ検討会にて

2023年度メンバー

2023年度は以下のメンバーで活動しています！何かございましたらお気軽にお声がけください！

○委員

- 佐々尾航 道立羽幌病院 (担当副支部長)
- 今江章宏 寿都町立寿都診療所 (委員長)
- 加藤聡一郎 釧路協立病院
- 谷村夏姫 手稲家庭医療クリニック 専攻医
- 八島駿 若草ファミリークリニック 専攻医
- 竹内健貴 道立羽幌病院 専攻医
- 小山裕基 手稲家庭医療クリニック 専攻医
- 木谷悠乃 旭川医大医学科2年

○協力メンバー

- 舛森悠 函館稜北病院 専攻医
- 渡邊由桂 勤医協中央病院 研修医
- 宇高彩 旭川医大医学科5年
- 長島啓悟 旭川医大医学科3年
- 大軒悟 旭川医大医学科3年

ちなみにブロック支部広報委員会はこんなことやってます！



プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部広報委員の松田諭です。

札幌で開業し4年目になりました。コロナ禍での新規開業でどうなることやら…というところから始まりましたが、スタッフ一同、日々地道に活動することで、地域に貢献できるよう奮闘しております！

変更しています。まだまだ変更の余地はあるかと思っておりますので、ご意見のある方はぜひご連絡いただければ幸いです！

また、その他ホームページやFacebookページの管理も行っておりますが、なかなか活発には活動できていないのが現状です。私自身が不慣れであるということもありますが…もし北海道支部の広報に興味のある方、発信の得意な方などいらっしゃればと思っています！

今後とも支部会員の皆様に興味を持ってもらえるよう励んでまいりますので今後ともよろしくご協力いたします！

北海道ブロック支部では、若手・初期研修委員会、広報委員会、薬剤師部会等に分かれて活動しています。

広報委員会の現在の主な業務はこの「ニュースレター」の作成です。昨年度からは支部活動をより多くの方に知ってもらえるよう、またニュースレターに興味を持ってもらえるよう、レイアウトの改善や写真を多く入れたり、ブロック支部会員のリーコラムを導入するなど抜本的に



トピック③

第10回北海道プライマリ・ケアフォーラムは 11月18日(土)に札幌かでの2・7で現地開催します!



第10回北海道プライマリ・ケアフォーラム
(兼 第103回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会)が11月18日(土)に札幌かでの2・7で現地開催されます。

今年度の実行委員長は舩森悠先生(道南勤医協函館稜北病院)です。基調講演は楢戸健次郎先生をお招きし、「家庭医に未来はあるか?」をテーマに語っていただきます。さらに、多職種や学生研修医も楽しめる各種ワークショップを企画中です。ご期待ください。

〈開催概要〉

【日時】

2023年11月18日(土)
12:30~19:20
終了後 懇親会予定

【対象】

プライマリ・ケアに関わる医療者
医療系学生
初期研修医

【場所】

かでの2・7
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 (TEL 011-204-5100)

【申込み】

10月初旬より開始

【主催】

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部



その他のお知らせ

① 道庁補助事業について

現在新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いあまり利用がありませんでしたが、現在も地域医療体験実習のための費用助成を継続中です! ぜひ医学生の方はご利用いただければと思います。

<https://ipca-hokkaido.jp/2022%E5%B9%B4%E5%BA%A6-%E4%BD%93%E9%A8%93%E5%AC%91%E7%BF%92%E3%83%BB%E6%96%BD%E8%A8%AD%E8%A6%8B%E5%AD%A6%E3%81%AB%E8%A6%81%E3%81%99%E3%82%8B%E8%B2%B9%E7%94%A8%E5%8A%A9%E6%88%90%E3%81%AB%E3%81%A4>

② ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会が各々活動&計画中です。引き続き情報があれば随時共有していきます。まだ Facebook のご登録をされていない方々もぜひ登録を!

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

③ 支部の予算について

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度事業をあまり行うことができなかつたこともあったため、内部留保があります。このため今年度の北海道地方会および北海道プライマリ・ケアフォーラムは無料としております。

北海道ブロック支部としては今後、支部活動をアピールしていくための施策を検討してまいりました。一つの案として、ブロック支部設立10周年記念事業もできないかとも考えていますので、アイデアをお持ちの方はブロック支部事務局までご意見お寄せください!

北海道ブロック支部事務局 Email
hpca.jimukyoku@gmail.com